



広報

きりいし

令和3年11月20日

第34号

発行 切石区自治会  
編集 広報委員会  
印刷 ヨシザワ印刷(株)

令和3年9月30日現在 切石区の人口 2,218人 (男性 1,069人 女性 1,149人) 組合加入 614戸 (世帯数 938戸)



切石区防災訓練

## 令和3年度 区政の折返しへの所感

切石区長 前田 雄二

リア中央アルプス トンネル掘削着工の通告が事業者からありました。コロナ禍で1年順延となった東京五輪が開催東日本大震災発災から10年 米国同時多発テロから20年 三六災害から60年と歴史的に節目となる令和3年となりました。

第5波の感染拡大により自治会活動が制約を受けられる中ではありますが、今期の事業の進め方として、感染対策をとり可能な限り実施に取り組みました。新企画の夏の思い出作り「切石子ども夏まつり」には260名の子どもさんと保護者役員が参加して頂きました。

近年、想定を超える自然災害多発の報道を見聞きします。前述の南信地域の三六災害では死者行方不明136名、被災家屋1500戸と多くの社会基盤が甚大な被害を受けました。地球規模の環境破壊による気候変動から国内の気象条件も亜熱帯の領域が増加して異常気象として現れています。切石地区においては巨大台風や線状降水帯による局地的な集中豪雨による中小河川の氾濫や、急傾斜地の土砂崩落が危惧されています。物理学者の寺田寅彦の言葉の「天災は忘れた頃にやってくる」の戒めによれば災害の無い平時こそ予想される災害への備えが必要です。

今年度の事業計画の重点課題には防災対策強化目標があります。防災備蓄倉庫を新設し備品整備を行いました。各地の防災訓練が中止される中で感染対策の為、自主防災役員のみで訓練を実施しました。地域を自分達で守る為に自助・共助・公助の在り方について考える一日となりました。

リア中央新幹線松川工区では、これ迄の作業ヤードの準備工事からトンネル本体に着工しました。リア中央対策委員会は自治会役員による対策室に改編し活動が新たな段階を迎えます。





# リニア中央新幹線 工事説明会の開催

## 工事用トンネル（斜坑）設置しトンネル掘削開始 工事期間を1年4カ月延長し2026年9月迄延長

### 今までの経過について

平成29年12月6日に開催された中央新幹線、中央アルプストンネル（松川工区約4.9km）の工事説明会の内容を厳守するとして平成30年2月14日、四者による確認書の締結がなされ、準備工事とそれに伴う工事用車両が通行してきました。

因みに、自治会としては踏み込んだ受け入れ態勢は取ってきませんでした。そこで、遅ればせながら、四者の合意がなされた後の平成30年5月、県地区の中で当事者地区である切石地区自治会でリニア対策委員会を立ち上げたわけです。県地区まちづくり委員会リニア対策会議との共通認識は構築しておりません。以降、最も身近な利害関係者の窓口として活動を続ける中で、今回、工事関係者から工事内容を変更したいとの申し出により、令

切石リニア対策委員長 代田 順久

和3年7月10日の工事説明会の開催となりました。



### 令和3年7月10日の 工事説明会の内容 （変更要旨）

- ① 工事期間を2017年（平成29年）12月から2026年（令和8年）9月とする。2025年（令和7年5月）から1年4カ月延長したい。
- ② トンネル工法は当初、中央アルプストン

ネル坑口からのトンネル掘削を計画していたが、工事用トンネル（斜坑）を新たに設けて掘削することに変更したい。工事用トンネルは、工事終了後閉塞する予定。

- ③ 主な理由としては想定以上に切り口附近の地表面がもろかった。
- ④ 9月6日からトンネル掘削開始したい。
- ⑤ 同日以降（日曜、年末年始等長期休暇を除く）発生土運搬のため10トントラック等のワンウェイ通行を開始したい。

住民の皆さんから、その間の対応や、その説明会自体についても厳しいご指摘、ご意見を頂戴しました。当委員会としては、その都度飯田リニア推進課を窓口として関係者との調整を重ね、意見募集もお願いしました。結果、説明会開催から6週間後、住民の皆さんの理解を頂いたとの理解で四者の皆さんも確り変更

後の確認内容を納得したうえで、2021年（令和3年）8月25日四者協議確認書変更締結調印がなされました。



工期が長引くことが決まったことから、不便さや通行の心配も長く続くことになりました。確認書記載の「安全対策」、「通行時間」、「工事の影響の低減対策」、「損傷の復旧」、「道路管理者である飯田市との綿密な協議」等、説明内容の厳守を強くお願いしていきます。

工事関係の皆さんへは、業界常識や理解がそのまま地元住民には通用しないということを改めて認

識してもらい、今まで以上に住民に寄り添った丁寧な対応を要望し続けていきます。

また、市道大休・妙琴線沿線の皆さんにおかれましては、工事関係車両とのすれ違い等くれぐれもご留意ください。

### 今後の活動方針

引き続き切石リニア対策室、リニア対策委員会としてできる範囲で安全対策の窓口・見張り役として活動していきます。

### 補足説明

※四者協議 四者（県地区まちづくり委員会、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構、JR東海、飯田市）による中央新幹線等に伴う飯田市県地区内における工事用車両の通行等に関する確認書

※工事施工関係者 JR東海を事業者、（独）鉄道運輸機構、戸田・あおみ・矢作特定建設工事共同事業体（JV）を受注者として

※トンネル掘削工法はコンビュータ搭載ジャンボ機械による。（ナトム工法）

### 切石区自治会日誌

3年7月5日

- 7・4 特殊詐欺被害防止講座（1～5班対象）
- 7・10 リニア対策委員会
- 7・11 水辺美化活動
- 7・11 妙琴公園管理作業
- 7・18 特殊詐欺被害防止講座（6～9班対象）
- 7・25 切石子ども夏まつり
- 7・28 リニア対策委員会
- 8・12 臨時リニア対策委員会
- 8・23 第2回防災研究会
- 8・25 リニア対策委員会
- 9・5 地震防災訓練
- 9・27 リニア対策委員会
- 10・2～3 天伯神社秋季祭典
- 10・3 中間監査
- 10・7 中学生ボランティア活動
- 10・12 妙琴公園将来構想検討委員会
- 10・20 組長会（中止）
- 10・24 切石文化祭（中止）
- 10・25 リニア工事視察・対策委員会

### 編集後記

やはり病のコロナに左右され原稿の選別に悩みましたが、活動できた事業をお知らせすることができそうで何より。胸を撫で下しています。（編集委員長 前澤清隆）